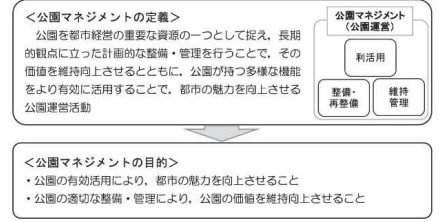


ポスト復興を見据えた本市の主な施策・取組みについて①

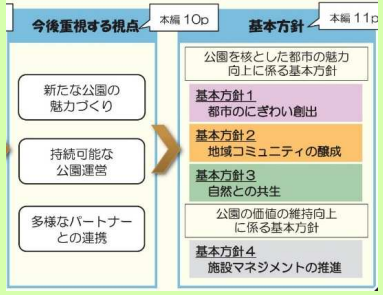
■みどりの施策

▶ 仙台市公園マネジメント方針（平成29年5月策定）

□ 公園を都市経営の重要な資源の一つとして捉え、長期的観点に立った計画的な整備・管理を行うことで、その価値を維持向上させるとともに、公園が持つ多様な機能をより有効に活用することで、都市の魅力向上を目的とし策定。



□ 構成



□ 主な施策

◆基本施策② 民間施設誘致による利用サービス向上
公園の魅力を一層向上させるため、公園の特性や周辺環境、利用者ニーズに応じて飲食店や売店、レクリエーション施設等の民間施設を誘致し、新たな公園サービスを提供します。

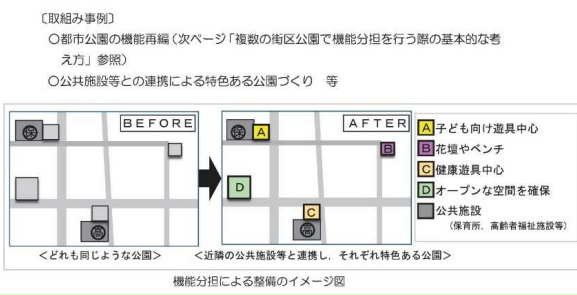
〔取組み事例〕

- 民間事業者等による飲食店、売店、スポーツ施設等の誘致
- 屋外広告物に関する規制緩和等



◆基本施策④ 地域の特色ある公園づくり
公園施設の老朽化対策とともに、周辺住民の人口構成の変化や地域ニーズ等に応じ、小規模な公園では複数の公園で機能を分担するなど、それぞれに特色ある公園づくりを行います。

また、公園に近接する保育所や高齢者福祉施設等の社会福祉施設を含む公共施設等とも連携した公園づくりを行います。



▶ 仙台市街路樹マネジメント方針（素案）（令和元年11月作成）

□ 市民、市民活動団体、事業者、行政が一体となり、街路樹の適正な維持管理を行いながら、街路樹が持つ多様な機能を有効に活用することで、市民が街路樹に愛着を深め、本市に住んでいることを誇りと思えるように、また、来訪者にとっては何度でも訪れたいくなるような都市であるよう、街路樹による「杜の都」の魅力向上を推進することを目的とし作成。

□ 構成



□ 主な施策

基本施策② 街路樹空間の活用による都市のにぎわいの創出

街路樹のある道路空間の活用を誘導することで都心の回遊性を高め、地域コミュニティを推進する等、都市のにぎわいを創出します。



基本施策⑥ 街路樹管理による道路空間の安全確保

道路舗装の根上がり、下水道管等の根詰まり、基準不適合、樹勢不良等が認められる街路樹について、解消及び抑制に向けた対策を計画的に進める等、道路空間の安全を確保します。



▶ 都市公園における民間施設の導入

□ 荒井東1号公園
民間施設：フットサル等運動施設（平成29年9月オープン）
都市再生推進法人である（一社）荒井タウンマネジメントと平成29年3月に本公園の整備や管理に関する「都市利便増進協定」を締結。民間事業者が運動施設を設置・運営し、その収益を公園全体の維持管理に充てることとしている。



□ 勾当台公園
民間施設：カフェレストラン（令和元年8月オープン）
本市文化観光局東北連携推進室による東北の食材を活用するカフェ・レストランの設置等による東北の魅力発信事業として公募。事業者が既存施設を改修し、便益施設を設置・運営。



▶ 青葉山公園整備事業（（仮称）公園センター基本計画 平成29年4月策定）

□ 青葉山公園は、仙台の礎である仙台城跡を含む青葉山と広瀬川に囲まれた区域について、藩政時代からの歴史・文化資源や優れた自然景観を生かしながら、市民や仙台を訪れた人が親しむことのできる杜の都のシンボルとなる公園として整備を行う。

□（仮称）公園センターは、青葉山公園・仙台城跡方面への玄関口にふさわしく、来訪者に向けて「杜の都・仙台の歴史・文化」を発信し、青葉山の自然と広瀬川に囲まれた空間で多くの人が憩い、集うことができる施設の整備を行う。

□ 青葉山公園整備基本計画（平成25年3月）



□（仮称）公園センター イメージ図



▶ 全国都市緑化フェア開催誘致（令和2年1月発表）

□ 杜の都の環境をつくる条例の制定50周年の節目の年にあたる令和5年度の開催を目指す。

□ 令和5年度は、日本の公園制度が設けられてから150周年の年でもある。

□ 全国都市緑化フェアの概要
主催：開催地の地方公共団体、公益財団法人都市緑化機構
開催期間：1か月以上
主な行事：全国都市緑化祭（児童による都市緑化宣言、記念植樹、緑化コンテスト表彰等を実施）



ポスト復興を見据えた本市の主な施策・取組みについて②

■ 都心の機能強化に向けた施策

➤ 都心再構築プロジェクト（令和元年7月始動）

□ 本市が目指す都心の将来イメージ



出典：せんだい都心再構築プロジェクトの基本的考え方

➤ 仙台市役所本庁舎建替（平成30年8月基本構想策定）

□ 新庁舎のコンセプトイメージ図

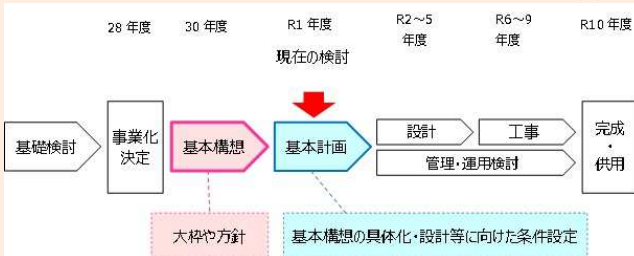
【新庁舎のコンセプトイメージ図】



出典：仙台市役所本庁舎建替基本構想の概要

□ 新庁舎完成までの流れ

出典：本市HP



➤ 定禅寺通活性化の推進（平成29年4月開始）

□ 国内外、そして未来に誇れる都市文化の発信地として、さらなるブランド力向上を目指し、道路空間の再構成やエリアマネジメントの導入なども視野にいれた魅力ある空間の創出と、それをきっかけとして、まちなかの人の回遊性を高め、仙台市がより一層多くの人々を魅了する活力ある都市となることを目指す。

□ これまでの主な取組み

・平成30年10月に定禅寺通活性化検討会を設立。定禅寺通に関する町内会や街づくり団体、定禅寺通の沿道地権者の皆さまなどにより構成され、定禅寺通エリアの将来像、エリアの活性化やさらなる魅力向上につながる取り組みなどを検討。これまでにパブリックミーティングや「LIVING STREET PROJECT 西側の歩道を楽しむプロジェクト第1~3弾」を実施。

・令和元年10月に道路空間利活用社会実験「定禅寺通ストリートパーク'19」を開催。道路空間の利活用によるにぎわいや憩いの場づくりの検討を深めるため、定禅寺通の一部区間において車道の一車線規制を伴う社会実験を実施。



■ 観光・経済に関する施策

➤ 仙台市交流人口ビジネス活性化戦略（平成31年3月策定）

□ 交流人口の拡大を消費に結びつけ、地域経済活性化につながる施策を集中的に展開するとともに、観光のみならず交流人口に関わる幅広い業種の育成・活性化を図ることを目的に「交流人口ビジネス活性化戦略」を平成31年3月に策定。

■ 交流人口ビジネス活性化戦略の概要

戦略の目的 2020年の東京オリンピック・パラリンピックの一つのターゲットとし、交流人口のさらなる拡大を図るとともに、誘客を消費に結びつけ、地域経済活性化につながる施策を集中的に展開する。また、観光のみならず交流人口に関わる幅広い業種を「交流人口ビジネス」と位置付け、その育成・活性化を図る。

対象期間 2019年度～2021年度（3年間）



出典：仙台市交流人口ビジネス戦略

□ 体験プログラム専用ウェブサイト「仙台旅先体験コレクション～わたしの“したい”がきっと見つかる～」を公開（令和元年10月）



出典：体験プログラム専用ウェブサイト「仙台旅先体験コレクション」

➤ 仙台市経済成長戦略2023（平成31年3月策定）

□ 人口減少社会の到来や経済のグローバル化など、本市経済を取り巻く環境の変化に対応し、地域経済を持続的に発展させていくために、本市が集中的に取り組むべき施策の方向性をまとめた「経済成長戦略2023」を平成31年3月に策定。

